

平成20年度 八戸市公共事業再評価シート

No. 20-④

評価対象事務事業名	八戸市公共下水道事業 (浅水川左岸第三、四、五、右岸第三排水区)	担当部署(電話) 下水道建設課計画調査グループ
------------------	-------------------------------------	-----------------------------------

再評価実施要件	<input type="checkbox"/> 事業採択後 <input type="checkbox"/> 再評価実施後	<input type="checkbox"/> 5年経過 <input type="checkbox"/> 10年経過	<input type="checkbox"/> 未着工 <input type="checkbox"/> 継続中	(その他)	現在、事業を実施している雨水排水区について再評価することで、事業の効率性、透明性の確保を図る。
----------------	---	---	--	-------	---

再評価実施要綱第3条第1項第4号該当

1 事業の概要

総合計画の 施策の体系	分野	5. 安全・安心なまちづくり
	大施策	5-4 居住環境の整備
	中施策	(1) 快適でうるおいのある市街地の形成
	小施策	(3) 下水道の整備
	事業	公共下水道の整備

事業 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助事業
	<input type="checkbox"/> 県補助事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業
財源 負担	<input checked="" type="checkbox"/> 国 50 %
	<input type="checkbox"/> 県 %
	<input checked="" type="checkbox"/> 市 50~100 %

採択年度	平成16年度 (用地着手 平成 年度)	(工事着手 平成16年度)
終了年度	平成32年度 平成14年 9月工期変更	(変更前の終了年度 平成22年度)

目的	近年、全国的に記録的な集中豪雨や長雨による浸水被害が多発している。公共下水道の目的のひとつには浸水の防除があり、都市の健全な発展には、汚水のみならず、雨水排水施設の整備も必要である。 浅水川左岸第三、四、五及び右岸第三排水区は、現在、区画整理事業が進められている八戸駅西地区であり、区画整理事業と同時に公共下水道事業を実施して、早期の都市基盤整備をめざすものである。	内容			当初計画		再評価時		整備状況
					全体計画	認可計画	全体計画	認可計画	[H19年度末]
			排水区域面積 (ha)	左岸第三	46.5	46.2	46.5	46.2	1.9
				左岸第四	40.5	13.2	40.5	13.2	0
				左岸第五	10.5	2.6	10.5	2.6	0
				右岸第三	75.0	49.5	75.0	49.5	2.8
				計画流出量 (m3/min)	左岸第三	178.62	178.62	178.62	178.62
				左岸第四	174.78	174.78	174.78	174.78	0
				左岸第五	63.96	63.96	63.96	63.96	0
				右岸第三	376.80	376.80	376.80	376.80	0
管渠延長 (m)	左岸第三	-	2,232	-	2,232	195			
	左岸第四	-	2,531	-	2,531	0			
	左岸第五	-	212	-	212	0			
	右岸第三	-	3,242	-	3,242	654			

事業費	○ 当初計画時総事業費 1,561 百万円		○ 再評価時総事業費 1,561 百万円		(単位:百万円)			
		~17年度	18年度	19年度	20年度	小 計	21年度~	合 計
	当初計画 (うち用地費) 【H2年基本計画】	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1,561 (0)
	計 画 (うち用地費) 【H20年4月認可】	110 (0)	65 (0)	344 (0)	320 (0)	① 839 ② (0)	722 (0)	⑤ 1,561 ⑥ (0)
	実 積 (うち用地費)	110 (0)	65 (0)	252 (0)	143 (0)	③ 570 ④ (0)	991 (0)	1,561 (0)

2 評価

(1) 事業の進捗に関する視点 A

進捗 状況	計画全体に対する進捗		年次計画に対する進捗	
	事業費割合	36.52 % 【③/⑤】	67.94 % 【③/①】	
	(うち用地費)	(- %) 【④/⑥】	(- %) 【④/②】	

《説明》

○計画全体に対する事業費割合の進捗は36.52%となっており、平成32年度完成に向けて順調に事業が進捗している。

(2) 事業の必要性等に関する視点 B

必要性	<p>○東北新幹線盛岡・八戸間が開業し、北奥羽の玄関口として、また、広域交通の結節点という立地の特性を活かした本市の顔となるまちづくりが急務であり、そのため、都市基盤施設の整備は健全な市街地の発達に重要である。公共下水道は汚水の排除のみならず、浸水の防除のため、必要不可欠な都市基盤施設である。</p>	市民等の声	<p>○区画整理事業の早期完成の要望が多い。</p>
------------	---	--------------	----------------------------

(3) 事業の投資効果に関する視点 B

費用対効果分析	(単位:百万円)					
	区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減	
	費用項目 ◎	① 管渠建設費	—	1,503.4	—	
		② 維持管理費	—	62.8	—	
	◎	総費用		—	1,566.2	—
		便益項目 ◎	① 浸水の防除効果	—	3,076.5	—
			② 残存価値	—	116.5	—
		総便益		—	3,193.0	—
	B/C		—	2.04	—	

《説明》

- 費用対効果分析手法
「下水道事業における費用効果分析マニュアル(案)」(平成18年11月(社)日本下水道協会)に基づいている。
- 特記事項
○事業継続の判断基準 B/C 1.0以上
○費用効果分析は外部委託で実施
受託業者:セントラルコンサルタント(株)
委託金額:4,197,375円

(4) 事業のコスト縮減等に関する視点 A

コスト縮減	<p>○国土交通省が策定している「下水道事業コスト構造改革プログラム」に則りコスト縮減に努めている。 管渠の最小土被りを浅くする。区画整理事業との連携による舗装復旧費の削減など。</p>
代替案	<p>○当該事業は浸水の防除が目的であり、下水道を整備する以外の浸水対策は考えられず、また、施設計画も最も効率的・効果的である。よって、代替案はない。</p>

(5) 市民ニーズの視点 B

把握方法・内容	<p>○区画整理事業の早期完成の要望が多く 下水道も都市基盤施設の一部である。</p>
----------------	---

(6) 環境影響への視点 A

配慮手法	<p>該当項目数3項目(実施数3項目) ○建設機械や工事車両には、低騒音、低振動、低排出ガスの機械の利用を促進する。 ○建設副産物のリサイクルを推進し、廃棄物の発生を抑制する。 ○廃棄物は徹底的に分別処分し、適正に処理されたことを確認する。</p>
-------------	--

3 対応方針(案)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 中止
理由	<p>「B」評価はあるが、浸水のない、安全で安心な生活を営むことは、市民が求める最低限の生活水準である。 よって、区画整理事業と連携して事業を継続したい。</p>

4 行政経営検討委員会意見

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 中止
付帯意見・理由等	<p>浸水被害防止は都市の健全な発展と市民の安全・安心を確保する上で最も重要なものであることから、区画整理事業の進捗状況を踏まえつつ、着実に事業を進めることが望まれる。</p>

5 対応方針(決定)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 中止
理由	<p>対応方針(案)に示したとおり事業継続とし、事業実施にあたっては、行政経営検討委員会の意見をふまえ実施する。</p>